

平成29年度 「横須賀工業高等学校不祥事ゼロプログラム実施状況」

○ 項目・目標別実施結果

項目	目標	実施結果と目標の達成状況
① 法令遵守意識の向上（公務外非行の防止、職員行動指針の周知・徹底を含む）	「公務員・社会人としてあってはならない非違行為の防止」を重点項目とし、公務員としての自覚を常に堅持し、社会人として法の遵守を徹底し、すべての校務外非行を未然に防止する。	A(良好)：4月当初の職員会議で全職員に対し意識啓発・注意喚起を促すとともに、折に触れて管理職より服務規律の徹底指導について講話を行い、公務員としての使命、職責の再確認を行った。平成30年度も継続実施していく。
② わいせつ、セクハラ行為の防止	セクハラ、わいせつ行為を未然に防止する。	A(良好)：わいせつ、セクハラに関する講演会とグループ協議を8月に実施した。また、新聞報道など具体的な事例による周知など計画通り実施できた。
③ 体罰、不適切な指導の防止	本校は昨年度と今年度の2年間、文部科学省の「人権教育研究指定校」となっている。研究を推進するとともに生徒の人権を尊重し、適切な指導を心がけ体罰等不適切な指導の徹底防止を図る。	A(良好)：体罰に関する講演会とグループ協議を8月に実施した。具体的な事例による周知など計画通り実施できた。また、日々の打合せの中でも繰り返し注意喚起を行った。
④ 成績処理及び進路関係書類の作成及び取り扱いに係る事故防止	入学者選抜業務をはじめ、成績処理、進路関係書類作成に適切な点検体制を整備し、全職員が使命と役割を自覚してミスのない業務を行う。また、正確で遅滞のない業務遂行を徹底する。	B(概ね良好)：定期試験のたびに点検・チェック体制の再構築と複数職員によるマニュアルに即した手順の再確認を行ったが、成績や出欠席数で最終段階でのミスが数件発覚した。30年度はチェック体制を見直して、改めて事故のない業務遂行に努めたい。
⑤ 個人情報等の管理・情報セキュリティ対策（パスワードの設定、誤廃棄防止）	機器の管理を含め、電子情報の適切な取扱いに努め、個人情報流出等の事故を未然に防ぐ。	B(概ね良好)：定期テスト終了後2～3週間シュレッダー使用禁止とし、誤廃棄防止を徹底した。30年度も継続して取り組みたい。

⑥ 交通事故防止、酒酔い、酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	交通法規を守り、交通事故の発生を未然に防止し、スピード違反、酒酔い、酒気帯び運転を根絶する。	B(概ね良好)：30年度も継続して取り組みたい。
⑦ 業務執行体制の確保等	風通しのいい職場環境を構築し、職員間で常に情報を共有・業務確認できるような体制づくりに取り組む。	A(良好)：管理職のみならず、各グループが輪番でテーマを設定して事故防止会議を実施するなど、全職員での取組を行った。
⑧ 会計事務等の適正執行	私費会計の適正な執行についての共通理解を深め、チェック体制の徹底を図り、私費会計に係る事故を未然に防止する。	A(良好)：年度当初と中間監査後に会計担当への研修を行い、会計監査、学校徴収金運営協議会ともに計画通り実施した。財務事務調査でも特に重篤な指摘を受けず、各会計担当者も「私費会計の手引き」に沿って業務をこなした。
⑨ 校長は、不祥事防止のために全職員を対象とした個別面談を行う。	校長面接により、事項不祥事防止の徹底防止を図る。	A(良好)：全職員との面談を実施した。30年度も継続して取り組みたい。
⑩ 実験・実習における事故防止	実験・実習における事故を未然に防止する。	B(概ね良好)：実験・実習室の整理整頓に努めた結果、概ね良好であったため30年度も継続して取り組みたい。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

(学校長意見)

平成29年度の達成状況は特に重大不祥事もなくほぼ良好であった。ただ事故にはつながらなかったが、成績データや個人情報管理の点検において最終点検でミスが発覚した事例が数件あったので、本年度は各事項のチェック体制を見直してさらに徹底した不祥事防止を図りたい。また不祥事全般について、他校の事例が自らのこととして自覚できる取組を図っていく。